

(別紙様式10)

2019 年度 北極域研究共同推進拠点 共同研究等報告書

申請区分: 萌芽的異分野連携共同研究 共同推進研究
 産学官連携フュージビリティ・スタディ
 共同研究集会 産学官連携課題設定集会

研究課題名: 2020 年代以降の陸域環境変動と多圏相互作用の検討

研究期間: 2019 年度～ 年度

共同研究員	氏名	所属・職名	専門分野	区分 (注 1)
研究代表者	飯島 慈裕	三重大学・准教授	気候学	
研究分担者 (拠点外)	羽角博康	東京大・教授	海洋学、海洋モデル研究	
	檜山哲哉	名古屋大学・教授	水文学、気候・気象学、地球環境学	
	小谷亜由美	名古屋大・助教	陸面熱・水・物質循環研究	
	伊藤昭彦	国立環境研究所・室長	物質循環モデル研究、地球システムモデル研究	
	高倉浩樹	東北大学・教授	社会人類学	
研究分担者 (拠点内)	兒玉裕二	国立極地研究所・特任教授	雪氷学	
	末吉哲雄	国立極地研究所・特任准教授	凍土モデル研究	
	矢吹裕伯	国立極地研究所・特任准教授	雪氷学、北極データ統合解析研究	
	後藤正憲	北海道大学・博士研究員	文化人類学、民俗学	
	佐藤友徳	北海道大学・准教授	領域モデル研究、大気陸面相互作用研究	
	中村哲	北海道大学・博士研究員	大気変動研究	
	朴昊澤	海洋研究開発機構・ユニットリーダー代理	陸面過程・河川流出過程モデル研究	

	斉藤和之	海洋研究開発機構・主任研究員	地球システムモデル研究、物質循環モデル研究	
研究協力者 (注2)				

【研究の内容】

(1) 図表や写真も交えて、研究の内容や成果等を1000字程度で簡潔に以下にまとめてください。

2020年3月23日に、JAMSTEC 東京事務所にて、表記課題「2020年代以降の陸域環境変動と多圏相互作用の検討」の共同研究集会を開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響にて開催が取りやめとなった。参加者1名の航空券キャンセル代がかかるのみとなった。

(2) 本共同研究に関連する活動（研究打合せ、学会参加、調査等）を実施した場合には、下表に記入してください。

日程(月日)	日数 (日)	活動内容	場所	共同研究員・研究協力者の参加者名	参加者数 (人)
記入例 2020.11.25	2	研究打合せ	東京	北大太郎、北方次郎、北野三郎	3

【研究論文や著書等】

著者名(共著者名含む)、発行年、論文タイトル、掲載誌名、巻・号、ページ数、DOI、査読の有無、インパクトファクター(IF、分かれば)、分野(表下にある(注3)から一つ番号を選択)を記入して下さい。

著者名, 発行年, 論文タイトル, 掲載誌名, 巻・号, ページ, DOI	査読の有無	IF	分野 (注3)
記入例: Hokudai, T., and Kitakata, J.(2020): Clarification of meteorological variability in the Arctic and migration of salmon, <i>Current Biology</i> ,30,4-8, 10.1021/jo0349227	○	9.9	⑥

(注3) 分野:① 化学 ② 材料科学 ③ 物理学 ④ 計算機&数学 ⑤ 工学

⑥ 環境&地球科学 ⑦ 臨床医学 ⑧ 基礎生命科学 ⑨ 人文社会系

【研究発表】

以下の事項をご記入ください。

発表年月日、発表者名(共著者を含む)、発表タイトル、発表学会等名称、発表地(国、県、市など)、招待講演についてはその点も明記してください。

発表年月日	発表者名	発表タイトル	発表学会等名称	発表地	招待講演 (○)
記入例 2019.8.28	北大太郎(A 大学 a 学部)、 北方次郎(B 大学大学院 b 研究科)、 北野三郎(C 研究開発機構 c センター)、 北島四郎(D 社 d 部)	北極域の気象 変動とサケの回 遊関係の解明	第 35 回北方圏 国際シンポジウ ム	紋別	○

【特許等】

特許・実用新案・商標などの出願がありましたら記載願います。

例) 特許第〇〇〇号(特願〇〇〇-〇〇〇)「発明名称〇〇〇〇〇〇〇〇」

【本共同研究に関連して実施した集会(注 4)等】

(注 4) 共同研究者、研究協力者、招へい者以外を含む参加募集によるもの

実施日、実施地(国、県、市など)、集会等名称、概略内容、対象者(「主に研究者」あるいは「主に研究者以外」)、参加人数(「主に研究者を対象」とした場合は外国研究機関の所属者の内数についても括弧内に明記ください。)

実施日	実施地	集会等名称	目的及び内容概略	対象者	参加人数 ()
記入例 2021.2.21	東京	北極問題研究会	北極域の油流出に関する最近の事例と原因研究。2012～2017 年の北極域における油流出事故に関する情報解析と可能な対応策について提案	主に研究者	35(5)

【本共同研究の発展】

本共同研究の成果が科学研究費などの外部資金の応募(予定を含む)やプロジェクトに発展した例があればご記入ください。

特になし

【アウトリーチ、取材、その他】

取材・新聞掲載などがありましたら、日時、新聞名、記事コピーを添付して頂くようにお願いします。

特になし